様式１

工事着手日申出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

苫小牧市長　様

　　　　　　　　　　　　申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　次のとおり実工期を定めましたので申し出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 工事番号 | （　　　） |
| 工事名 |  |
| 契約締結年月日（予定） | 令和　　年　　　月　　　日（　　曜日） |
| 工事着手日 | 令和　　年　　　月　　　日（　　曜日） |
| 実工期  （契約で定める工期） | 工事着手日から  令和　　年　　月　　日（　　曜日）まで  （　　　　　日間） |

※１　契約締結日の前日までに提出すること。

　２　工事請負契約書の工期の始期日は、本申出書に記載された工事着手日とする。また、実工期の工事日数は、発注者があらかじめ指定する日数とする。（工事着手日及び実工期の末日は、土日、祝日・休日、12月29日～1月3日に設定することはできない。）

　３　余裕期間（契約締結日から工事着手日の前日までの期間）において、受注者は、資材の搬入及び仮設物の設置等の準備工事を含め、工事に着手してはならない。

　４　余裕期間は、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人を配置することを要しない。

　５　余裕期間の設定により増加する経費は、受注者の負担とする。

　６　契約保証期間は、契約締結日から実工期の末日までとする。

　７　前払金を請求できる時期は、実工期内となる。